

ろう難聴とヘルス 当事者主体による教育研究活動

障害者高等教育研究支援センター・講師

小林 洋子

キーワード

ろう難聴、ヘルスコミュニケーション、ヘルスリテラシー、QOL、マイノリティ、コミュニティ、アクセシビリティ、ソーシャルキャピタル、ICF、社会的決定要因

研究概要

ろう難聴者のQOLの向上実現を図るために、健康状態や健康に影響する要因の分析や情報整理、実態把握に関する研究を進めています。

要因に関しては、具体的に社会経済的状态（就労状態、学歴、所得等）、世帯の社会経済状態（世帯構成、心理的サポート等）、それを取り囲む地域・行政（医療、福祉等）、地域・市民（社会的支援、ソーシャルキャピタル等）等があげられます。

マクロ（社会）レベルでの要因

社会的公平・不平

文化

行政・政策

社会経済状況

メゾ（集団・地域）レベルでの要因

ソーシャル・キャピタル

コミュニティ

職場・学校環境

ミクロ（個人・家庭）レベルでの要因

社会経済的状态

個人の繋がり

家庭

生活習慣・健康行動

ろう難聴者の健康状態、QOL

応用例・用途

- ろう難聴者や他障害者を取り巻くヘルスに関する情報発信
- ろう難聴者をはじめ、他障害者の健康増進寄与
- 社会とのつながりによる健康づくりなどの取組み 等

